

國學院大學學術情報リポジトリ

談話研究における分析と統合：
大分県玖珠郡九重町飯田の不祝儀談話を例として

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學国語研究会 公開日: 2025-06-02 キーワード (Ja): 不祝儀談話, 大分県方言, 分析, 発話意図, 統合 キーワード (En): 作成者: 杉村, 孝夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001691

談話研究における分析と統合 —大分県玖珠郡九重町飯田の不祝儀談話を 例として—

杉村 孝夫

キーワード：不祝儀談話、大分県方言、分析、統合、発話意図

1. はじめに

1.1 研究の動機

杉村孝夫（2019）では大分県の1950年代～1980年代～2010年前後の3時期の不祝儀談話の発話機能について、数量的に経年変化を分析した。「情報提示」、「心情表明」、「儀礼対応」¹の発話機能には変化傾向が見られないのに対し、「行為表明」の発話機能には明らかに減少の傾向があることを明らかにした。外的要因として葬儀の形態が変化したためと思われる。次に、＜発話意図＞を具体表現によって分類していったが、「こまぎれ」感・「隔離」感がして、「分析」するだけでは談話の「生きた姿」はつかまえない²、と感じた。「分析」とともに「統合（再現・再生）」しなければならない。

1.2 談話研究の方法

談話の全体は、話段⇒ユニット（小話段）⇒発話⇒発話要素と階層的に分節される³。発話要素はコミュニケーションの機能を担う談話の最小単位であり、その具体的な機能は談話の内容により＜発話意図＞としてとらえられる。

大分県玖珠郡九重町飯田（はんだ）で2011年に収録した⁴不祝儀の場面の談話を「分析」し、また「統合」することにより方言談話の生きた姿をとらえたい。

さらに大分県の50年にわたる3時期⁵の発話意図を帰納的に分類して特徴を明らかにしたい。

2. 用語の整理

＜発話意図＞とは、「発話機能の下位区分」「談話の性格に即した具体的な機能」（椎名渉子・小林隆2017：231）である。「発話機能」とは「発話の目的や聞き手への働きかけ」（ポリー・ザトラウスキー2011）であり、「言い換えれば発話の意図のことである」（椎名渉子・小林隆2017：227）。さらに言えば、話し手が聞き手に伝えたい事柄と態度であり、言語形式によって表され、その言語形式を「解釈」することによってとらえることができる⁶。

談話の、発話要素への分節に対して、組み立てのフェーズでは

- ① 発話要素から発話への組み立て（統合・復元）
- ② 隣接（応答）ペアへの組み立て（統合）（1-2、3-4、5-6、7-8、9-10、11-12、13-14、15-16、1-15）を通して
- ③ 談話全体の構造を把握する。

1-16は、九重町飯田で収録した談話の発話番号。最後の1-15のペアは応答ペアではなく、語彙的結束性（cohesion）を持つ、談話の構成上のペアである。

3. 発話機能・発話意図の種類

3.1 発話機能の下位区分

椎名渉子・小林隆（2017）では「情報提示」、「儀礼対応」、「心情表明」、「行為表明」という4つの発話機能を認めた。不祝儀のやりとりという内容面に即して下位区分すると、椎名渉子・小林隆（2017）は日本放送協会編（1999）を資料として、「情報提示」では次の11の要素＜発話意図＞を抽出した。（1）死去の確認、（2）死去の確認への返事、（3）弔問の経緯の説明、（4）弔問の状況の説明、（5）死去についての質問、（6）死去についての説明、（7）故人についての質問、（8）故人についての説明、（9）看病についての説明、（10）葬儀に関する質問、（11）葬儀に関する説明。4つの発話機能全体では

42の＜発話意図＞を立てている。

大分県の不祝儀談話の発話機能には、「情報提示」、「儀礼対応」、「心情表明」、「行為表明」のほか、「談話表示機能」が認められる。以下、各発話機能ごとに発話の意図の種類を示す。「情報提示」については発話の意図の種類ごとに例を挙げる。

3.2 大分県不祝儀談話の「情報提示」の発話意図

大分県の「情報提示」の発話意図は表1の通りである。

表1 「情報提示」の発話意図

発話意図	用例	地点名・収録時期 ^{注1}
(1) 朴報を受けた経緯の説明	11m ^{注2} …シラジャッタモンジャ キナー…タマガツチェ マーダ キタ トコジャー	大野郡緒方町長谷川 2次
(2) 訃報を受けた経緯の説明に対する応答	8f ヘー ソーグライカアンタ (まったくでございます) ⁷	下毛郡耶馬溪町家龍 1次
(3) 死去についての質問(18例) ^{注3}	9m ナンナ ビョーキヤー ナ ンジャッタンナ	大野郡緒方町長谷川 2次
(4) 死去についての説明(24例)	4f チョット シンゾーノ ホー ヤッタケナー モー ホント キュージャッタンヨ	佐伯市 3次
(5) 死去説明に対する同意/応答	13m-1 ホントヤナー	大分市一尺屋 3次
(6) 死去説明に対する確認/応答(11例)	5 m-1 アー ソーカエ	大分市戸次 3次
(7) 死去確認に対する肯定応答	4f-1 ハー ナー	大分市一尺屋 3次
(8) 葬儀(日程)についての質問	11m-2 ナー (それなら) ソー シキヤー ナンナ イトゥナ	大野郡緒方町 2次
(9) 葬儀(日程)についての説明(10例)	11f-3 ソーシキヤー アシタ デー	大野郡緒方町長谷川 2次
(10) 葬儀(日程)についての確認(6例)	13m アー ホントエ	大野郡緒方町長谷川 2次
(11) 葬儀(日程)についての確認に対する応答	14f アーン	大野郡緒方町長谷川 2次
(12) 死者(仏様)についての説明	10f-2 ワリトナー シズカナ カオデ、イー カオデ オルンヨ	佐伯市 3次
(13) 死者についての説明に対する同意(死者についての感想)	11m-1 アー ホント	佐伯市 3次

発話意図	用例	地点名・収録時期 ^{注1}
(14) 故人についての質問	9m オバサンナ アンタ アノー、 ユフインデ ヒトリデ シューカツ シヨットンジャナイノ？	玖珠郡九重町飯田3次
(15) 故人についての説明	4m-2 ハヨカラ ヨメニ イッチ ナー モー コドモ サンニン ソダテチ…キュージューチコーマデ イキタンデー。 ソジャキ マー シヤワセジャチ オモーケンド	杵築市中山香3次
(16) 弔問者の家族からの伝言	5f ウチカラ ミナ ヨロシュー モーシアゲヤンシタ マー	大分郡庄内町庄内1次
(17) 看護についての質問	7f ニューインナ ドノクライ シチヨッタデスカ？	日田市大鶴本町3次
(18) 看護についての説明	4m-3 マー アノー イッショ ケンメー アタシモ ヨージョー シテアゲタ (f ナー) ケダデスネ、	日田市大鶴本町3次
(19) 看護についての説明に対する同意	11f コレモ シカタナイデス ネー。テノ イルルシコ (手がかけられるだけ) イレチカラネー。	日田市大鶴本町3次
(20) 看護についての説明に対する同意に対する応答	12m ナー	日田市大鶴本町3次

注1 地点名・収録時期は大分県の談話収録地点と時期を示す。

- 2 用例の11mなどは談話の何番目のm(男性)、f(女性)の発話かを示す。談話は男女2名で行った。
- 3 発話意図の後の数字は得られた用例数を示す。多いものだけ示した。

椎名渉子・小林隆(2017)にあらわれた(1)死去の確認、(4)弔問の状況の説明、(7)故人についての質問は大分県ではみられなかった。大分県では「応答、同意、肯定応答、確認」のような軽い応答(後続の文があることが多い)も分別したので数が多くなった。大分県では(12)死者(仏様)の様子についての説明、(15)弔問者の家族からの伝言が特徴的である。しかし、他県の資料にそれらが見られないのは偶然であろう。このような発話は不祝儀の場面ではどの地方にあらわれても不思議はない。

弔問の談話の全体の流れをみれば、朴報に接した弔問者が弔問の経緯を述べ、弔意を表し、死去原因について質問・説明のやり取り、遺族からの故人の生前の世話に対する礼、看護の様子や故人の生前の生活について説明・感想を述べあい、葬儀の日程などについてやりとりをし、今後の交誼の依頼を

するなど一連の発話は全国どこでも大きな違いはないのか、あるいは何か地域差があるのか、今後解明すべき課題である。

3.3 大分県不祝儀談話の「儀礼対応」の発話意図

「儀礼対応」の発話意図は表2の通りである。

表2 「儀礼対応」の発話意図

(1) 弔意表明 (27例)	(2) 弔意表明に対する返事	(3) 弔意表明に対する礼 (17例)
(4) 弔問に対する礼	(5) 生前の世話に対する礼 (13例)	(6) 生前の世話に対する礼に対する恐縮
(7) お参りの申し出に対する礼	(8) 故人の感想に対する礼	(9) 遺族へのねぎらいに対する礼
(10) 遺族への励ましに対する礼	(11) 遺族への励ましに対する礼 / 弔問に対する礼、に対する恐縮	(12) 弔問の接待に対する礼
(13) 仏壇の前での念仏	(14) 訪問のあいさつ	(15) 弔問者の家族からの伝言に対する礼
(16) 気候のあいさつ	(17) 無沙汰のわび	(18) 失言に対するわび
(19) 辞去表明	(20) 辞去表明に対する応答	(21) 弔問者を見送ることば
(22) 名前・年齢階梯の呼びかけ	(23) 名前・年齢階梯の呼びかけに対する応答	

3.4 大分県不祝儀談話の「心情表明」の発話意図

「心情表明」の発話意図は表3の通りである。

表3 「心情表明」の発話意図

(1) 故人についての感想 (38例) 死去直後、間近、以前に下位区分される	(2) 故人についての感想に対する応答 / 同意 (11例)	(3) 死去についての感想 (27例)
(4) 死去についての感想に対する応答 (14例)	(5) 遺族に対するねぎらい (7例)	(6) 遺族に対するなぐさめ
(7) 遺族に対する励まし (18例)	(8) 遺族に対する励ましに対する受諾 / 応答 (8例)	(9) 遺族としての気持ち (覚悟)
(10) 葬儀時の天候の心配		

3.5 大分県不祝儀談話の「行為表明」の発話意図

「行為表明」の発話意図は表4の通りである。

表4 「行為表明」の発話意図

(1) 今後の交誼申し出 (8例)	(2) 今後の交誼申し出に対する受諾	(3) 葬儀手伝いの依頼 (6例)
(4) 葬儀手伝いの受諾	(5) お参りの申し出 (6例) ⁸	(6) お参りの申し出の受諾
(7) 葬儀手伝いの申し出	(8) 葬儀手伝いの申し出受諾	(9) お別れの許可求め
(10) お別れの許可求め受諾	(11) 関係者への伝言依頼	(12) 弔問者の家族への伝言依頼

3.6 大分県不祝儀談話の「談話表示機能」の発話意図

4つの発話機能の他に「談話表示機能」を認めなければならない。これは<談話終結の発話意図>ひとつである。

- (1) 談話終結 (例) 19m ホンナラ、マー キोटウケテナー (大分市一尺屋3次) 「心情表明」の<遺族に対する励まし>の一部、「ホンナラ」は談話を終結させる機能を併有する⁹。

4. <弔意表明>の発話意図の機能についての検討

<弔意表明>は「儀礼対応」か「心情表明」か。これは遺族に向かって弔問の意を伝える儀礼の発話であると判断される。<弔意表明>であるから話し手の気持ちを表しているが、単に心情を述べるだけではなく、一定の型、その地方の表現類型を用いておこなう弔問のあいさつである。<名前の呼びかけ>は儀礼対応である。何故なら、名前を呼ぶということは相手との社会的関係を強化するということであり、ヤーコブソンの言う交話的 (phatic) 機能になる。<弔意表明>も故人と遺族、弔問者との社会的関係を強化するものである。<弔意表明>の特徴は ①挨拶の一種、②定型的で、地方ごとに表現類型があり、同時に心情を相手に伝える。例えば、(i) ナゴー クヤミナハリー (下毛郡家籠1次) (ii) フナラ オクヤミデゴザイマス (杵築市中山香3次) (iii) ハナシガ ワリーガー (東国東郡姫島村2次) また、③丁寧度が他の発話意図より高いなどの特徴を有する。以上のことを考える

と「儀礼対応」に分類しても「心情表明」に分類しても十分とは言えない。そこで、「機能」の分類から「素性の束」表示でとらえれば、多様な「機能」をもつ発話意図をうまくとらえることができるのではないかと、とまだ試案であるが考えている。

例えば、＜弔意表明＞は＜＋儀礼対応、＋心情表明、＋定型性、＋丁寧＞のように表される。しかし、「分析」だけでは生きた姿がとらえられなくなるという欠点も生じる。ヤーコブソンらの素性表示では、具体音声のイメージと結びつきにくい。

5. 飯田方言の不祝儀談話の発話（発話要素の連鎖）、応答ペアへの組み立てと全体的構造

テキストに話段・ユニット・発話機能・発話意図を付加したものを示す。

m TT (81歳) f TH (75歳)

話段Ⅰ 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

ユニット1 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

1 m アノー ドーカタナー、アンタガタ アノー Zサンガ^{注1} アノー
あの どうかなあ、 あなたの家 あの Zさんが あの

トートー ヨーナカッチカラニアンタ アノー ノーナッタチューガ
とうとう 良くなってあなた あの 亡くなったというが

ホント マー オサミシーコッチゴザンスネ。「儀礼」・＜弔意表明＞
本当に まあ お寂しいことでございますね。

注1 Zさんは、相手のお母さんの名前。

2 f-1 ハイ「儀礼」^{注2}・＜応答＞- 2 タイヘン マー セーゼンワ マー
イロイロト
はい 大変 まあ 生前は まあ いろいろと

ホント ミナサンニ ヨーシテモラッテ アリガトーゴザイマシ

タ。「儀礼」・＜生前の世話に対する礼＞

本当に 皆さんに よくしてもらって ありがとうございます。

注2 発話機能の「儀礼対応」は「儀礼」、「心情表明」は「心情」、「情報提示」は「情報」、「行為要求」は「行為」と略記する。

話段Ⅱ 死去時の年齢・死去原因・看護についての質問と説明

ユニット1 死去時の年齢についての質問と説明

3m アノー オバサンナ トシャー ナンボジャッタヘ^{注3}。「情報」・
＜死去時の年齢質問＞

あのう、おばさんは 年は いくつだったかな。

注3 「へ」はこの地方独特の文末助詞。

4f-1 ヘー、「情報」・＜応答＞-2 アノー アト イッカゲツデ マン
キュージューゴトカ

はい、 あの あと 1ヶ月で 満 95（歳）とか

ホンニンガ イーヨッタミタイデ（m アー。）キュージューゴザ
イ^{注4}

本人が 言っていたみたいで（m あー。）95歳

（m アー、ソーヘ。）カ？タナー。「情報」・＜年齢説明＞

（m あー、そうなの。）か？だったか。

注4 語中で音声器官の緊張がゆるみ、有声化して本来は「ゴサイ」のところ「ゴザイ」と発音している。

ユニット2 死去原因についての質問と説明

5m ナンカ ワルカッタヘー。「情報」・＜死去についての質問＞

なにか 悪かったの。

6f-1 ウーン、「情報」・＜応答＞-2 マー スコシ ニンチショーニ
カカッテ タナー、

うーん、 まあ 少し 認知症に かかって ねえ、

ソン アト チョット アノー、タン タンゾーカネ^{注5} タン
タンカン？ナンカガ

その 後 ちょっと あの、胆 胆どうかな 胆 胆管？
何かが

ワルイトカユッテ タナ、「情報」・＜死去原因についての説明＞
悪いとか言って ね^{注6}、

注5 「胆嚢」の言い間違いか？

6 発話の中断。

ユニット3 看護についての質問と説明

7m ナンカ シセツカナンカ イッチョットタンヘ？「情報」・＜看護につ
いての質問＞

なにか 施設かなにかに 入っていたのかい？

8f-1 ヘー、「情報」・＜応答＞-2 ヤッパリー シセツニ アノー、ハ
イッチョッテ ソコ

はい、 やっぱり 施設に あの、入っていて
そこ

カラ アノー、レイノホーニ イッテ ソコデ アノ、トートー
から あの、例の方に 行って そこで あの、とうとう

イッテシマイマシタ。「情報」・＜看護についての説明＞
逝ってしまいました。

アノー、ニューインシテオリマシタ。「情報」・＜死去についての説
明＞

あの、入院しておりました。

話段Ⅲ 故人の生前の生活・心情についての質問と説明・感想

ユニット1 故人の生前の生活と心情

9 m オバサンナ アンタ アノー、ユフインデ ヒトリデ シェーカツ
お婆さんは あなた あの、湯布院で 一人で 生活

シヨッタシヤナイノ? 「情報」・<故人についての質問>
していたのではないの?

10 f ソーナンバイ。「情報」・<同意>
そうなのです。

11 m トジェナカッタローネー。「心情」・<故人についての感想>
さびしかっただろうねえ。

12 f サビシカッタト オモー タナー。「心情」・<故人についての感想>
さびしかったと 思う よね。

13 m-1 オバサンナ アンタ ムカシ アノー、ナバデナー^{注7}、フクダ^{注8}、
お婆さんは あなた むかし あの、しいたけのね、ふくだ、

オイサント ソージョーサントカ イーヨッタ。(f ヘー。) アン
シト
おじさんと そーじょーさんとか 言っていた。(f はい。) あの
人と

イッショニ イッショーケンメー ナバトリオ シテネー、
(f ウーン。)
一緒に 一生懸命 しいたけ採りを してね、(f うん。)

ワシカタン バーサンヤラ アンタガタニ ヨー ナバトリヤラ
私の家の ばあさんなど あなたの家に よく しいたけ採りなど

イキヨッタケンドガ (f ウーン) 「情報」・＜故人についての説明＞
行っていたけれど (f うん。)

注7 「ナバ」はしいたけのこと。

8 亡くなった人の夫。「フクダ」と言って「オイサン」と言い直した。

-2 オバサンナ ホント ヨー シンセツニ シテクレヨッタ ホント
マー。「心情」・＜故人についての感想＞

おばさんは 本当 よく 親切にしてくれていた 本当に まあ。

14f-1 ソータナー「心情」・＜同意＞-2 ムクチダッタケドタナ、
(m ウーン。)

そうだねえ 無口だったけどね、 (m うん。)

ナカナカ ミンナニ アノー、ヨーシテ、「情報」・＜故人について
の説明＞-3 ミンナ

なかなか、皆に あの、よくして、 皆

カラモ スカレチヨッタミタイバイ。「心情」・＜故人についての感
想＞

からも 好かれていたみたいよ。

15m-1 ショージキナ ヒトヤッタネー ホント マー。(f ホント。)
「心情」・＜故人についての感想＞

正直な 人だったねえ 本当 まあ。(f ほんとう。)

ユニット2 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

- 2 オサビシューゴザイマス、アンタ、ドーモ。「儀礼」・＜弔意表明＞

さびしいことでございます、あなた、どうも。

16f-1 タイヘン ホント セーゼン オセワニナリマシテ「儀礼」・＜生前の世話に対する礼＞

大変 本当 生前は お世話になりました

ユニット3 今後の交誼の申し出

- 2 マタ コンゴモ オセワオ オネガイイタシマス。「行為要求」・＜今後の交誼の申し出＞

また 今後も お世話を お願いいたします。[談話終了]

話段とユニット、全体的構造は次のようになる。また、一発話内の発話要素の連鎖、異なる発話の発話要素どうしのペアは発話意図をつないで談話の動態を再現する。

開始部¹⁰ なし

話段Ⅰ 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

ユニット1 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

1mと2f-1 ＜弔意表明一応答＞のペア

2f-1と2f-2 ＜応答一生前の世話に対する礼(新しい内容
注1)＞の連鎖

注1 対話相手の発話にはない新しい話題の提示である。

話段Ⅱ 死去時の年齢・死去原因・看護についての質問と説明

ユニット1 死去時の年齢についての質問と説明

3mと4f-1 ＜死去時の年齢質問(新しい内容)一応答＞の
ペア

4f-1と4f-2 <応答—年齢説明>の連鎖

ユニット2 死去原因についての質問と説明

5mと6f-1 <死去についての質問（新しい内容）—応答>
のペア

6f-1と6f-2 <応答—死去についての説明>の連鎖

ユニット3 看護についての質問と説明

7mと8f-1 <看護についての質問（新しい内容）—応答>
のペア

8f-1と8f-2 <応答—看護についての説明>の連鎖

話段Ⅲ 故人の生前の生活・心情についての質問と説明・感想

ユニット1 故人の生前の生活と心情

9mと10f <故人についての質問（新しい内容）—同意>の
ペア

11mと12f <故人についての感想（新しい内容）—故人につ
いての感想（同調）>のペア

13m-1と13m-2 <故人の生前の生活についての説明（新し
い内容）—故人についての感想> の連鎖

14f-1と14f-2と14f-3 <同意—故人についての説明（新
しい内容）—故人についての感想>の連鎖

14f-3と15m-1 <故人についての感想—故人についての感
想>のペア

15m-1と15m-2 <故人についての感想—弔意表明（新しい
内容）の連鎖（ただし、15m-2はユニット2に所属する）

ユニット2 弔意表明と故人の生前の世話に対する礼

15m-2と16f-1 <弔意表明—故人の生前の世話に対する礼
（新しい内容）>のペア（1mと2fのペアの繰り返し、1m-
15m-2、2f-16f-1は語彙的結束性を持つ談話の構成上のペ
ア）

ユニット3 今後の交誼の申し出

16f-1 と16f-2 <生前の世話に対する礼—今後の交誼の申し出（新しい内容）>の連鎖

終了部 なし

おわりに

日暮れて道遠し。紙数の関係で発話意図は「情報提示」以外例示することが出来なかった。大分県の一地点の不祝儀談話を具体例として分析と統合の方法を示したが、他の地点、他の内容の談話についても同様の方法でとらえることができる。

「分析」では談話を話段・ユニット（小話段）・発話・発話要素へと分節することによって「発話機能」、その具体的な下位区分としての<発話意図>をとらえることができた。この段階では一人の話者の一つの発話はそれを構成する発話要素ごとに分断されてしまう。

「統合」では分断された発話要素どうしをつなぎ合わせた。一つの発話には複数の<発話意図>が連続していることが多い。どんな<発話意図>どうしが連続するのか明らかにした。ひとつの<発話意図>の次にまったく異なる<発話意図>が続き、新しい話題が展開することもある。<応答>と<説明>のような相手の発話を受けてその話題の範囲で続くこともある¹¹。一つの発話の中での<発話意図>どうしの関係は「連鎖」ととらえた。

次に発話と発話の応答ペアがどのように形成されるか明らかにした。<質問>と<説明>のようなペアがあれば、<感想>と<同意>のようなペアもある。新しい<発話要素>で話題が展開することもある。前の<発話要素>を受けて話題が連続することもある。発話どうしの関係は応答ペアととらえた。

また、談話構成上の関連性を持つ要素の存在も認められた。

注

- 1 「情報提示」以下の4つの発話機能と発話意図の概念は椎名渉子・小林隆（2017）で提案されたものに従った。

- 2 『生きたことばをつかまえる』というタイトルの言語変異に関する研究書がある。
- 3 沖裕子（2006）、國府方麗夏（2001）、椎名渉子・小林隆（2017）、杉村孝夫（2019）、ポリー・ザトラウスキー（1993）他参照
- 4 2009-2011科研費補助金による調査。日高貢一郎、二階堂整、松田美香各氏と4名で収録・文字化・注記を行った。
- 5 1950年代、1980年代、2009～2011年に収録。それぞれ1次、2次、3次と表示する。
- 6 発話意図をどう解釈するかには課題が残る。國府方麗夏（2001）によれば、発話の意図（発話内行為）は「話し手と聞き手のやり取りから、話し手の発話が聞き手に及ぼした影響を客観的に分析する」ことにより「定義」できる（p.99-100）。LA（発話行為）とは言語的意味だけを聞き手に伝える行為、IA（発話内行為）は話し手の意図。PA（発話媒介行為）はLAとIAが聞き手に及ぼす効果である。発話の機能は話し手の意図、IAによって決定される。従ってLAとPAの関係を考察し、その結果からIAを導き出す（p.108-109）。
- 7 この反語的表現については松田美香・杉村孝夫（2019）を参照。
- 8 <お参りの申し出>は「行為表明」に分類される。しかし、<お参りの申し出>に対する礼は表2に示したように「儀礼対応」に分類される。両者は応答ペアであるが機能としては別のものになる。発話機能に分類するだけでは発話意図がばらばらに分類されるだけで相互の有機的結合が分離されてしまう。分析の次には統合により生きた姿を取り戻さなければならない。
- 9 「ホンナラ」の部分は独立した発話要素とする方がよいのか。「ホンナラ」だけではどんな機能かは特定できない。「ホンナラ」の機能は前後の文脈によって定義される。
- 10 本談話では、訪問のあいさつなどの開始部、別れのあいさつなどの終了部がなく、直接<弔意表明>から始まっている。多くの談話は開始部、本題部、終了部で構成される。
- 11 国立国語研究所編（1987：88-94）「発話のうけつぎ」参照。

参考文献

- 沖裕子（2006）「談話の最小単位と文字化の方法」、沖裕子『日本語談話論』大阪市、和泉書院
- 國府方麗夏（2001）「談話分析の単位としての『アクト』」、『言語と文化論集』8、神奈川大学大学院
- 国立国語研究所編（1987）『談話行動の諸相―座談資料の分析―』東京、三省堂
- 小林隆（2018）「儀礼性と心情性の地域差」、小林隆編『コミュニケーションの方言学』東京、ひつじ書房

- 椎名渉子・小林隆（2017）「談話の方言学」、小林隆他『方言学の未来を拓く』東京、ひつじ書房
- 杉村孝夫（2019）「不祝儀の場面における談話の変容—大分県3時期の談話を中心として—」、日本方言研究会編『方言の研究』5、東京、ひつじ書房
- 日本放送協会編（1999）『全国方言資料』東京、日本放送出版協会
- レスリー・ミルロイ、太田一郎他訳『生きたことばをつかまえる—言語変異の観察と分析—』東京、松柏社
- ポリー・ザトラウスキー（1993）『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの考察—』東京、くろしお出版
- （2011）「発話」、中村明他編『日本語文章・文体・表現事典』東京、朝倉書店
- 松田美香・杉村孝夫（2019）「快諾の表現イーグレーナコッチャネー・ヤスイコトについて—方言資料と文献資料から—」、『筑紫日本語研究2018』筑紫日本語研究会
- Roman Jakobson、Gunnar Fant、Morris Halle（1961）：Preliminaries to Speech Analysis：The Distinctive Features and Their Correlates（The MIT Press）